2014年8月6日

報道関係各位

持田製薬株式会社

「硬化性ゲルを用いた関節軟骨損傷の治療」の科学技術振興機構「産学共同実用化開発事業」への採択に関するお知らせ

持田製薬株式会社は、独立行政法人科学技術振興機構（以下「JST」）の産学共同実用化開発事業（NexTEP）に応募しておりました開発課題「硬化性ゲルを用いた関節軟骨損傷の治療」（以下「本開発課題」）が、7月28日付でJSTにより採択されましたのでお知らせいたします。今後、JST からの委託を受け、関節軟骨損傷の治療の実用化に向けて開発を推進してまいります。

本開発課題は、かねてより当社と国立大学法人北海道大学（代表研究者：北海道大学大学院医学研究科機能再生医学講座整形外科学分野教授　岩崎 倫政）で共同研究を行ってきた海藻由来多糖類物質のアルギン酸を、軟骨修復治療材として開発するというもので、医療機器の製造販売承認を取得することを目標としています。これまでに軟骨損傷モデル動物において効果を確認しており、今後、臨床試験を実施し、実用化に向けて取り組んでまいります。

なお、本件による当社の当面の連結業績への影響は軽微であります。

以上

【参考】

産学共同実用化開発事業（NexTEP）とは、独立行政法人科学技術振興機構が、大学などの研究成果に基づくシーズを用いて、開発リスクが高く規模の大きい開発を支援し、実用化を目指す技術移転支援事業です。

〈お問い合わせ先〉
持田製薬株式会社　経営企画部　広報室
東京都新宿区四谷１－７　　ＴＥＬ．０３－３２２５－６３０３
ＦＡＸ．０３－３２２５－６３１５
E-mail　webmaster@mochida.co.jp